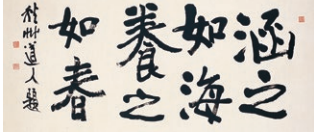


會津ハ一の歩み(年表)

明治14年	0歳	8月1日、新潟市古町通5番町に生まれる。
明治33年	19歳	新潟県尋常中学校(現県立新潟高校)を卒業。
明治34年	20歳	「東北日報」の俳句選者に。
明治39年	25歳	早稲田大学文学科を卒業。上越市(旧板倉町)の私学有恒学舎(現県立有恒高校)の英語教師に就任。
明治43年	29歳	有恒学舎を退職し、早稲田中学校の英語教師に就任。
大正3年	33歳	「学規」四則=右下=を定める。
大正7年	37歳	早稲田中学校教頭に就任。
大正13年	43歳	歌集「南京新唱」刊行。
大正14年	44歳	早稲田中学校を退職。
大正15年	45歳	早稲田大学で「東洋美術史」を教え始める。
昭和6年	50歳	早稲田大学文学部教授に就任。
昭和8年	52歳	学位論文「法隆寺法起寺法輪寺建立年代の研究」を刊行。
昭和9年	53歳	文学博士となる。
昭和13年	57歳	早稲田大学文学部に藝術学専攻科が設置され、主任教授に就任。
昭和15年	59歳	歌集「鹿鳴集」刊行。
昭和20年	64歳	早稲田大学教授を辞任。空襲で自宅が全焼し新潟に帰郷。
昭和21年	65歳	夕刊新潟社の社長に就任。
昭和22年	66歳	歌集「寒燈集」と書画図録「遊神帖」を刊行。
昭和26年	70歳	新潟市の名誉市民になる。「會津ハ一全歌集」を刊行し、読売文学賞を受賞。
昭和28年	72歳	宮中歌会始に召人として臨席。
昭和31年	75歳	冠状動脈硬化症で逝去。

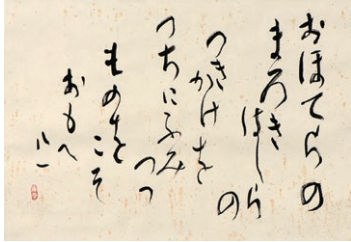
左利きだったハ一は幼い頃、個性が強く右手で書道の手本通りに書くのが苦手でした。ハ一独自の書の形は中国古代文字をはじめとした、さまざまな文字を研究し、一字一字を大切にすることで作り上げられました。



之を涵すること海の如し
之を養うこと春の如くす

解説
学問や見識を自然に染み込むように養い育てることの重要性を説いた言葉。

書家 會津ハ一



おほてらの まろぎ柱の 月影を
土にふみつつ ものをこそ思へ

解説
月の光を受けた唐招提寺金堂の円柱。その長い影を踏みながら行きつ戻りつ、古い奈良の都を思い、遠い世のギリシャの神殿を思う。古代への憧れを詠んだハ一の代表作。

歌人 會津ハ一



全て平仮名書きで、万葉調のおおらかな歌いぶりが特徴です。歌の音を大切にし、技巧を凝らした歌でなく自身の感動を素直に詠む歌を好みました。ハ一の歌は歌人・齋藤茂吉なども高く評価しています。

新潟が生んだ文人

歌人、書家、美術史学者、教育者など、さまざまな顔を持つ會津ハ一の歩みと、各分野での功績を紹介します。

會津ハ一が残した功績

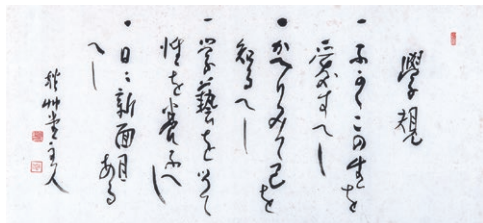
美術史学者 會津ハ一



東洋美術史の中でも主に奈良時代の美術などを研究していて、実物と文献資料を車の両輪のように駆使する「実学論」を実践していました。学位論文「法隆寺法起寺法輪寺建立年代の研究」は、従来の美術史の学説と異なる説を唱えたもので、学界に新風を吹き込みました。

教育者 會津ハ一

中学校や大学などで教壇に立ったハ一は、厳しくも優しい風変わりな先生だったといわれています。受験に挑む学生に向けて人生の指針を示した「学規四則」は、後に自らの座右の銘にもなりました。



学規四則
ふかくこの生を愛すべし
(自分の命を大切にし、愛しなさい)
かへりみて己を知るべし
(自分自身を深く理解し、反省しなさい)
学芸を以て性を養ふべし
(学問と芸術を通じて人間性を磨きなさい)
日々新面目あるべし
(毎日新しい自分を創造し続けなさい)

開館50周年

會津ハ一記念館に行こう



施設情報

開館時間 10時～18時
※月曜(祝日の場合は翌日)、展示替え期間、12月28日～1月3日は休館
入館料 一般500円、大学生300円、高校生200円、小・中学生100円
※土・日曜、祝日は中学生以下無料。展示内容で異なる場合あり
場所 中央区万代3-1-1
メディアシップ5階
JR新潟駅から徒歩約15分
新潟交通バス停「万代シティ」下車 徒歩約1分



同館ホームページ

当館は昭和50(1975)年に開館しました。約1万2千点の作品資料を所蔵していて、年4回開催する展覧会ごとに作品を入れ替えています。所蔵品が多いので常設の展示はなく、何度来ても毎回異なる作品を見ることができなのが魅力です。
開館50周年を迎えた今年度は、節目の年にふさわしい、魅力ある展覧会を開催しています。この機会にぜひ当館にお越しください。
各種イベント、講演会なども随時開催しているのので、ホームページなどをチェックしてください。

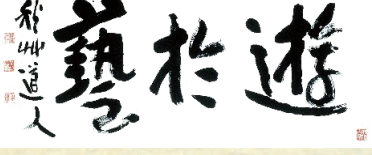


12/8～12/15は
展覧会の準備で休館!!
間違えて来ないように。



「ベスト・オブ・會津ハ一」

同館の作品資料の中から、過去の来館者アンケートで人気だった作品や学芸員お薦めの作品、特徴ある作品など、厳選した見応えある作品を展示します。同時開催で、ハ一の歌を写真で表現するフォトコンテストの入賞作品も展示します。



会期
12月16日(火)～3月22日(日)